

# ◆大雨・台風時の避難のポイント



## ■直前の準備（警戒レベル1・2）

●家の外

- 屋根・アンテナ
  - 瓦、ルーフ材のずれがないかの確認。
  - TVアンテナ等の固定はしっかりしているかの確認。
- ベランダ
  - 排水マス口の掃除
  - 物干し、鉢植えなどの飛散の危険の高いものは室内へ
- 窓ガラス・雨戸
  - ひび割れ、ガタツキがないかの確認をする。
  - 雨戸がない場合は、飛散防止テープを貼ったり、木材を打ち付けるなどの補強を行う。
- 雨樋
  - ゴミのつまり、反り、曲がりがないか、継ぎ目等にずれ、破損はないかの確認。
- その他
  - 庭に置いている物の確認。
  - 塀（ブロック塀）等の破損箇所がないかの確認
- 土のう
  - 浸水が予測される場所には予め用意しておきましょう。
- 側溝
  - ゴミのつまりや破損はないかの確認。

## ●家の中

- 懐中電灯、携帯ラジオ、貴重品、水や非常食の持ち出し品の確認
- 雨戸を閉めたり、飛来物が入り込んでくるのを防ぐためカーテンやブラインドを閉める。
- 貴重品、動かせる家具・家電製品など、水に浸かると困るものを高い所に移動させる。
- 停電に備えて、携帯電話やパソコンを充電する。

## ■避難する時（警戒レベル3・4）

### ■状況によりすばやく避難しましょう

避難情報が発表されていなくても、雨の状況等から判断し自主的に避難しましょう。

### ■浸水時には長靴は厳禁

避難の際には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。

### ■浸水時、自動車での避難は危険

自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

### ■家族には連絡メモを残そう

外出中の家族には、どこへ避難するといったメモを残しておくといでしょう。

### ■近所の人と助け合いながら避難しましょう

単独での行動は避け、近所の人と決められた場所に避難しましょう。また高齢者の方々の避難支援にも協力しましょう。

### ■安全なルートで避難

避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

※避難場所に着いたら、係の人の指示に従い行動しましょう。